

## 県交通安全施設業協会の「平成30年賀詞交換会」開く 約160人が出席、新たな年に向けて、協会の組織強化や飛躍を誓う



会員ら約160人が出席して盛大に開かれた平成30年賀詞交換会

### 地又工他政示



主催者挨拶の田中会長

(一社)福岡県交通安全施設業協会(田中賢哉会長 会員91社)の「平成30年賀詞交換会」は23日、福岡市の博多サンヒルズホテルで開き、会員や福岡県県土整備部の幹部、顧問の県議会議員、関係団体役員ら関係者164人が出席し、昨年4月に設立した業界団体の組織強化や新年に向けての更なる飛躍を誓い合った。

冒頭、主催者挨拶に立った田中会長は、協会が設立して1年、九州北部豪雨災害への支援、福岡県との大規模災害時の支援協定締結など昨年を振り返った後「われわれは県内で大規模災害が“いつ、どこで起きても駆けつける体制づくり”と災害・防災に対する意識を更に高め

ていかなければいけない」とし、強い団結を訴え「平成30年度からは県職業能力開発協会と当協会とで路面標示施工技能士検定を開催し、専門業としての道路標識・路面標示・防護柵に関する施工技術の向上、労働災害の防止等の徹底を図り、社会的地位の向上、健全な協会発展を目指す。また、分離発注の陳情とともに、協会として道路標識・防護柵の点検調査、区画線・路面標示などの更新時期等調査、歩道等の危険個所の調査を実施し、監督官庁へ意見を具申していきたい」などと述べた。

### 地又工他政示



来賓挨拶の原口顧問



来賓挨拶の山本部長

このあと、来賓で顧問の原口剣生福岡県議会議員、福岡県の山本巧県土整備部長が「交通事故防止や安全で円滑な道路交通の確保、施工技術の向上に努め、更なる業界の発展を」と祝辞。顧問の松尾統章福岡県議会議員の乾杯の発声で開宴。協会のますますの発展と会員企業の飛躍を祈念して和やかに歓談した。



乾杯の音頭の松尾顧問